

令和6年度版

住人十色のまちづくり

～地区社会福祉協議会の概要～



社会福祉法人 大和市社会福祉協議会

やまとボランティアセンター

◆ も く じ ◆

- ・ 下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会の概要……………2
- ・ 中央林間地区社会福祉協議会の概要……………4
- ・ 南林間地区社会福祉協議会の概要……………6
- ・ 鶴間地区社会福祉協議会の概要……………8
- ・ 深見大和地区社会福祉協議会の概要…………… 10
- ・ 上草柳地区社会福祉協議会の概要…………… 12
- ・ 中央地区社会福祉協議会の概要…………… 14
- ・ 桜丘地区社会福祉協議会の概要…………… 16
- ・ 和田地区社会福祉協議会の概要…………… 18
- ・ 福田北地区社会福祉協議会の概要…………… 20
- ・ 渋谷西地区社会福祉協議会の概要…………… 22
- ・ ふれあい訪問事業の概要…………… 24
- ・ ミニサロン事業の概要…………… 26
- ・ 個別支援活動の概要…………… 34
- ・ 地区社協マップ…………… 36

注1) 地域概況の数値(高齢者数・高齢化率・後期高齢者数・要介護認定者数)は、大和市健康福祉部人生100年推進課発行『大和市日常生活圏域高齢者等統計』を、人口・世帯数は、大和市総務部総務課公表資料をもとに算出したもので、いずれも令和6年7月1日現在における数値です。

注2) 民生委員児童委員数には、主任児童委員(各地区2名)も含まれています。

注3) 施設の状況は、それぞれの地区社協エリアに住所地がある施設として整理したものです。

注4) 主な活動拠点は、地区社協の会議や事業等で比較的高頻度に活用している施設を掲載しています。規約上の拠点については、施設名の後ろに()付けて『規約上』と明記しています。

〇はじめに…

大和市には、11の地区社会福祉協議会（地区社協）が組織され、市社協と連携して日々、地域福祉の推進に取り組んでいます。

地区社協は、自治会や民生委員児童委員協議会を中心に、地域の福祉や健康増進、子育て・青少年育成活動など幅広い活動推進団体や個人の参画により構成され、地域住民の交流の場づくりや、日常生活における高齢者等のちょっとした困りごと（例：ゴミ出し、草取り、電球交換、買い物代行、通院の介助等）への個別支援、児童に対する支援など多様な事業を実施しています。

地区社協は、地域の住民の皆様が、地域の福祉問題について話し合い、地域で解決できることを考えて、より多くの住民の皆様の参加と協力を得ながら、具体的な解決の取り組みを行う住民主体の組織です。様々な活動を進めながら、そこで把握されたニーズに着目し、次の新たな活動を考え取り組むことで、「住民参加による具体的な福祉活動を実践する主体としての力」を高めてきたのです。

現在では、「ふれあい訪問」「ミニサロン」「個別支援」といった地区社協の活動が、市の高齢者福祉施策に位置づくなど、大和市の地域福祉推進の一翼を担う組織になっています。

この「住人十色のまちづくり～地区社会福祉協議会の概要～」は、各地区の地域概況や地区社協の組織・運営状況、事業内容を集約し、最新の地区社協活動の情報を住民の皆様にお届けすることで、より一層の地区社協への理解を深め参加を促すことや、市内各地区社協関係者が互いに情報を共有し、今後の活動の参考としていただくことを目的としています。

今後とも、市社協の基本理念である「住民ひとりひとりの参加を基本に共に支えあう福祉のまちづくりを」の実現に向けて、本書を最大限にご活用いただければ幸いです。

令和6年7月

社会福祉法人 大和市社会福祉協議会
やまとボランティアセンター

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会

設立年月

昭和54年(1979年)4月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在

項目	大和市	下鶴間つきみ野地区	対市比率
人口	245,345人	41,452人	16.90%
世帯数	122,161世帯	18,440世帯	15.09%
高齢者数	58,571人	8,881人	15.16%
高齢化率	23.87%	21.38%	-2.49ポイント
後期高齢者数	33,765人	4,935人	14.62%
要介護認定者数	11,174人	1,552人	13.89%

地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載

自治会数	16自治会	民生委員児童委員数	定数35人(現数31人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム「ロゼホームつきみ野」、下鶴間つきみ野地域包括支援センター(ロゼホームつきみ野)、グループホーム花物語やまと、ソラストつきみ野	
	障がい者福祉施設	大和すずな作業所、大和つきみの作業所	
	児童福祉施設	つきみ野すこやか保育園、保育園おひさまのほっぺ、木の子保育園、わらべ保育園、大和つきみ野雲母保育園、大和つきみ野駅前雲母保育園、アスク鶴間保育園	
	教育関連施設	北大和小学校、中央林間小学校、林間小学校、大和小学校、つきみ野中学校、鶴間中学校、大和中学校、大和高校、つきみ野学習センター	
その他関連施設	コミュニティセンター-公所会館並びに下鶴間会館、山王原自治会館、坂上自治会館、つきみ野自治会館、宿自治会館、長堀自治会館、山谷自治会館、大和原自治会館、山王原上自治会館、公所自治会館、第2層協議体拠点、コ-つきみ野集会所		

地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在

会長氏名	濱田 和博 (自治会)		
副会長数	5人	自治会(5)	
常任理事	3人	自治会(2)、民生委員児童委員(1)	
会計数	2人	自治会(2)	
書記・事務局数	3人	自治会(2)、福祉施設(1)	
執行機関	理事会	18人	
議決機関	評議員会	45人	
監査機関	監事	2人	
部会構成	○総務部会 ○福祉事業部会 ○ボランティア部会 ○青少年部会 ○広報部会		
主な活動拠点	コミュニティセンター-下鶴間会館(規約上)、拠点事務所		
運営上の特徴	地区内2か所のコミュニティセンターのほか、諏訪神社や自治会館等幅広い活動拠点を有効に活用。また、平成24年度から活動の場として拠点事務所を開設。地区内の関係施設との連携・協働による事業推進も多い。地域内の中学校等の協力のもと子どもから高齢者までの幅広い交流事業を展開している。		

地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)

	収入内訳		支出内訳	
一般会計総額 3,183,667円 ※対前年比 230,627円減	・市社協助成金	1,203,800	・事業費	1,893,800
	・市補助金	25,000	・調査・広報・研修費	160,000
	・社協会費配分金	850,000	・事務費	178,000
	・収益金・寄附金	130,000	・会議費	50,000
	・負担金	60,000	・助成金支出	250,000
	・雑収入	40,000	・交際費等	155,000
	・繰越金	874,867	・積立金支出	200,000
			・予備費	301,867
特別会計	・特別活動費積立金 2,901,046円 ※令和6年3月31日現在			

基本方針		
<p>当地区社協は、共に支え合う福祉のまちづくりのため多くの関係団体やボランティアの協力により、地域福祉の一翼を担ってきました。ここ2年、ウィズコロナの新しいライフスタイルの時代にあった地域福祉活動の在り方について、地区社協として事業の見直しも進め、新たな形態での「子どもまつり」の開催など、多くの地域の人たちから喜ばれる取り組みを進めてきました。</p> <p>社会福祉法の改正に伴う包括的支援体制の整備や、大和市並びに大和市社協の策定する地域福祉関連計画なども視野に入れ、地区社協としても、地域住民同士の支え合い活動の重要性を再認識すると共に、大きな活動である「ふれあい訪問事業」「ミニサロン事業」「個別支援事業」のさらなる促進と、多くの地域住民が交流できる場の提供を進めていきます。</p>		
重点目標		
<p>事業方針に基づき、地域の関係団体の皆様と協力して、地域福祉づくりのため「つどい」「見守り」「支え合い」の機能を果たすべく事業活動に取り組みます。また、新しいスタイル、人との接点の仕方を考えていきます。</p>		
1	ミニサロン事業の充実	2 ふれあい訪問事業の拡充
3	個別支援活動	

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告より整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
お花見会	ひとり暮らし高齢者を対象とした交流事業として計画したが雨天中止。準備した記念品等は役員・ボランティアにより各戸配付した。	
敬老の集い	つきみ野中学校を会場に開催。つきみ野中学校吹奏楽部の演奏や演芸などで交流。参加者 100 人。中学校教員・生徒 54 人。	
障がい者福祉活動		
咲フレンド機能訓練	3 人 1 組のボランティアが交代で、障がいのある人の機能訓練事業を実施している。現在は感染予防のため休止中だが、訪問や声掛け等の交流は継続。	
合同お芋ほり	障害者地域作業所との交流事業 23 人参加。	
児童福祉・青少年育成活動		
子どもまつり 「わんぱくピック」	つきみ野中学校を会場に、地域の子どもの対象としたニュースポーツや福祉体験で交流。117 人参加。つきみ野中学校の生徒 9 人がボランティアとして参加。	
子育て支援活動	民児協が運営し、地区内 3 会場で実施している子育て支援「ぴよんぴよんくらぶ」への助成並びに事業への参加協力。	
住民向けイベント		
子どもまつり 「わんぱくピック」	前景（保護者も参加）。	
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	地区社協だより「おりづる」を発行（年 2 回 8 月・3 月発行、全戸配布）。	
組織体制強化・活動充実のための活動		
賀詞交歓会	地域内の福祉関係者の交流、賀詞の交歓を目的とする事業。下鶴間コミュニティセンターで開催。42 人参加。	
ボランティアの集い	ボランティアの研修・交流を目的に、地域包括支援センター職員を講師に認知症について学ぶ。47 人参加。	
ボランティア研修	ボランティアの研修・交流を目的に、視察研修を実施。45 人参加。	

中央林間地区社会福祉協議会

設立年月

昭和56年(1981年)5月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在				
項目		大和市	中央林間地区	対市比率
人口		245,345人	31,044人	12.65%
世帯数		122,161世帯	15,138世帯	12.39%
高齢者数		58,571人	5,837人	9.97%
高齢化率		23.87%	18.80%	-5.07ポイント
後期高齢者数		33,765人	3,169人	9.39%
要介護認定者数		11,174人	1,046人	9.36%
地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載				
自治会数	8自治会		民生委員児童委員数	定数28人(現数27人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	介護老人保健施設「大地」、中央林間地域包括支援センター(プレマ会)、グループホームエスケアホーム大和		
	障がい者福祉施設	大和つきみの作業所		
	児童福祉施設	緑野保育園、つきみ野湘南保育園、スクールエンジェル保育園中央林間園、十六山保育園、まなびの森保育園中央林間、大和中央林間雲母保育園、あーす保育園中央林間、ほいくえん虹の子、保育園まめわかば、もこもこ保育園、あけぼの保育園、キンダーガーデンりんかん、ウイラまなびの森保育園中央林間、認定こども園中央林間幼稚園、子育て支援施設きらきらぼし		
	教育関連施設	緑野小学校、中央林間小学校、南林間中学校、南林間小学校、つきみ野中学校		
	その他関連施設	コミュニティセンター中央林間会館、コミュニティセンター緑野会館 中央林間連合自治会館、大和市民交流拠点「ポラリス」		
地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在				
会長氏名	金子 哲也 (福祉協力員)			
副会長数	4人	自治会(2)、福祉協力員(2)		
会計数	2人	福祉協力員(1)、ボランティア(1)		
書記・事務局数	2人	ボランティア(2)		
執行機関	常任理事会	30人		
議決機関	理事会	39人		
監査機関	監事会	2人		
部会構成	○総務部会 ○事業部会 ○ボランティア部会 ○広報部会			
主な活動拠点	コミュニティセンター中央林間会館(規約上) コミュニティセンター緑野会館、中央林間連合自治会館、ポラリス			
運営上の特徴	各種事業は、地区内2か所あるコミュニティセンターとポラリスを有効に活用、会議は連合自治会館を活用するなど工夫。各事業の企画・運営はそれぞれ部会が責任を持ち進めている。ボランティア部会員が多いのが特徴で、部会員が様々な活動の担い手となっている。地域内の保育園等との連携も密である。			
地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)				
一般会計総額 2,911,308円	収入内訳		支出内訳	
	・市社協助成金	643,200	・事業費	2,070,000
※対前年比 140,277円増	・市補助金	25,000	・会議費	40,000
	・社協会費配分金	460,000	・運営費等	295,000
	・収益金・寄附金	400,000	・積立金	100,000
	・雑収入	25,000	・予備費	406,308
	・繰越金	1,358,108		

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

約1万5千世帯、3万1千人の方が住み、ますます人口が急増する中央林間地区において、44年目を迎えた中央林間地区社協は、より地域の皆様に「親しみを感じ」て「役立ててもらおう」ことを目指し、新しいボランティアの参加を促し活動を続けていきます。

重点目標

- (1) 地域の皆様とのより良い連携を目指します。
- (2) 高齢者・障がいのある人、子育て支援の両面から事業を進めます。
- (3) 参加者や利用者が笑顔になるようボランティア活動を進めます。
- (4) 地域の皆様に地区社協の活動内容や役に立つ情報を伝える広報活動に取り組みます。

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
敬老花見の会	新型コロナウイルス感染防止のため中止。	
「学ぼう暮らしの安心・安全」の集い	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	
ひまわりサロン	市社協「ひまわりサロン事業（緑野コミセン）」への協力。43回、各回2人。	
障がい者福祉活動		
施設支援	つきみの作業所の餅つき会は、あいさつのみで参加。	
児童福祉・青少年育成活動		
子育て支援「マミー&キッズ」	「ひろ～い芝生でのびのびと！」をテーマに相模カンツリークラブを会場に親子交流事業を実施。5月は546人、2月は734人が参加。	
住民向け講座・講演会等福祉教育活動		
福祉体験学習	中央林間小学校（4年生）並びに緑野ふれあい広場で実施予定もいずれも中止。	
住民向けイベント		
福祉バザー	財源確保を目的に東急中央林間店エントランスを会場にバザーを実施。約60名が参加。また、ポラリスまつりでも実施し25人参加。	
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	中央林間地区「社会福祉協議会だより」を、4月・7月・11月・2月の年4回発行（各戸配布）。	
組織体制強化・活動充実のための活動		
役員研修会	役員を対象に視察研修を実施。13人参加	
ボランティア情報交流会	4部会合同でボランティア等を対象に、前年度と今年度の事業の打合せを兼ねた交流会を実施。38人参加。	

南林間地区社会福祉協議会	設立年月	昭和59年(1984年)9月設立
---------------------	------	------------------

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在

項目	大和市	南林間地区	対市比率
人口	245,345人	29,130人	11.87%
世帯数	122,161世帯	15,269世帯	12.50%
高齢者数	58,571人	7,283人	12.43%
高齢化率	23.87%	25.00%	+1.13ポイント
後期高齢者数	33,765人	4,171人	12.35%
要介護認定者数	11,174人	1,397人	12.50%

地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載

自治会数	6自治会	民生委員児童委員数	定数34人(現数32人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	介護老人保健施設「成和ナーシングプラザ」、南林間地域包括支援センター(サンホーム鶴間)、ニチイケアセンター大和西鶴間、グループホーム花物語やまと西、特養老人ホーム「ほの里南林間」	
	障がい者福祉施設	障害者地域作業所「あるむ」、「総活躍大和」、「ワークセンターやまと」、精神障害者地域作業所「フレッシュゾーンボイス」、障害者自立支援たんぼ事業所、パン工房「麦の香り」	
	児童福祉施設	モニカ保育園、ふたば林間保育園、あつぷる園、南林間保育園、アスク南林間保育園、大和南林間雲母保育園、(認定こども園：高座みどり幼稚園)、プリンス保育園南林間	
	教育関連施設	南林間小学校、林間小学校、西鶴間小学校、聖セシリア小学校、南林間中学校、鶴間中学校、大和西高校、聖セシリア女子中学校・高校	
	その他関連施設	コミュニティセンター南林間会館、やまと防災パーク、南林間地区たすけあいセンター、NPO法人地域家族しんちゃんハウス	

地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在

会長氏名	菊地 弘 (学識経験者)
副会長数	9人 自治会(6)、自治会連合会(1)、協議体(1)、民生委員児童委員(1)
会計数	1人 自治会(1)
書記・事務局数	2人 自治会(2)
執行機関	理事会 21人
議決機関	評議員会 61人
監査機関	監事会 2人

部会構成 ○総務・広報部会 ○事業部会 ○ふれあい訪問部会

主な活動拠点 コミュニティセンター南林間会館(規約上)
南林間自治会連合会館、東南自治会集会所、西北自治会館

運営上の特徴 幹部役員に地区内すべての自治会長が参画しているのも特徴。各事業の企画・運営は、それぞれ部会が責任を持ち進めている。また、地区内の南林間地区たすけあいセンターとも連携し活動を進めている。各団体等への支援も積極的に行っている。

地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)

	収入内訳		支出内訳	
一般会計総額 5,388,054円	・市社協助成金	1,749,600	・運営費	100,000
	・市補助金	25,000	・事業費	1,600,000
	・社協会費配分金	600,000	・負担・補助金	1,173,000
※対前年比 125,907円減	・収益金・寄附金	260,000	・積立金支出	100,000
	・雑収入	10,100	・予備費	10,000
	・繰越金	2,743,354	・次年度繰越金	2,405,054

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

新型コロナウイルス感染拡大前の体制に戻し、各種事業に取り組みます。特に、新型コロナウイルス感染により外出の機会が減少したことに対し、様々な場面を活用し外出の機会を拡大していきます。また、避難行動要支援者の支援に向けて、自治会長を中心に民生委員児童委員、援護者、地区社協委員による懇談会を開催し要支援者と援護者の確定を図ります。さらに、地区社協創立40周年の節目の年であり、ホームページ等を活用し様々な情報発信を行います。

重点目標

- (1) 避難行動要支援者援助体制の充実
- (2) 広報紙並びにホームページによる広報活動の充実
- (3) ふれあいネットワーク事業の充実とボランティアの強化

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
在宅介護者激励訪問	新型コロナ感染防止のため中止。（民児協と共催）	
ひまわりサロン	市社協「ひまわりサロン事業」へのボランティアによる協力	
住民向け講座・講演会等福祉教育活動		
健康講座	健康体操とスクエアステップ体操の講習会として実施。28人参加。	
南林間自治連防災訓練	南林間中央公園で開催された南林間連合自治会主催の防災訓練において、避難行動要支援者支援の体験として車いす体験コーナーを実施。	
ふれあい広場車いす体験講座	林間小学校校庭で開催されたふれあい広場において、車いすの体験コーナーを実施。65人参加。	
住民向けイベント		
愛の福祉バザー	南林間中央公園にて実施。約80人の協力のもと約15万円の売り上げ。収益を活用し95歳以上の高齢者55人に記念品を贈呈。	
歩け歩け運動	南林間防災パークから座間市芹沢公園までのウォーキングを実施。昼食をはさみ交流事業を実施。102人参加。	
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	地区社協だより「みなみりんかん」を1回発行(全戸配布)。	
ホームページの運用	令和4年10月からホームページによる情報提供を実施。	
組織体制強化・活動充実のための活動		
新年賀詞交歓会	地域内の福祉関係者の交流を目的に実施。45人参加。	
愛の小箱設置	活動のための自主財源づくりとして地区内の協力店30店舗に募金箱を設置。	
避難行動要支援者支援対策	各自治会単位における要援護者の再確認等を進める一方、一部自治会で支援者との連絡会「援助者会議」を定着化させた。	
南林間地区たすけあい協議会への支援	第2層協議体「大和市南林間地区たすけあい協議会」へ積極的支援を行っている。	

鶴間地区社会福祉協議会

設立年月

昭和57年(1982年)3月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在				
項目		大和市	鶴間地区	対市比率
人口		245,345人	22,457人	9.15%
世帯数		122,161世帯	11,484世帯	9.40%
高齢者数		58,571人	6,001人	10.25%
高齢化率		23.87%	26.72%	+2.85ポイント
後期高齢者数		33,765人	3,364人	9.96%
要介護認定者数		11,174人	1,158人	10.36%
地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載				
自治会数	20自治会		民生委員児童委員数	定数28人(現数27人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム「サンホーム鶴間」、特別養護老人ホーム「ほの里南林間」、鶴間地域包括支援センター(サンホーム鶴間)、ニチイケアセンター大和西鶴間		
	障がい者福祉施設	障害福祉センター「松風園」、障害者自立支援センター、レインツリー鶴間、		
	児童福祉施設	若草保育園、若葉保育園、大和ひまわり保育園、西鶴間保育園		
	教育関連施設	西鶴間小学校、大野原小学校、大和小学校、林間小学校、大和中学校、鶴間中学校、南林間中学校		
	その他関連施設	コミュニティセンター鶴間会館、コミュニティセンター西鶴間会館、コミュニティセンター上草柳会館、子安児童館、保健福祉センター、保健福祉センター別館、地域医療センター、大和市役所第2分庁舎		
地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在				
会長氏名	青木 恵美子 (自治会)			
副会長数	3人	自治会(1)、民生委員児童委員(1)、ボランティア(1)		
会計数	2人	民生委員児童委員(2)		
書記・事務局数	—	※各部会担当者が記録		
執行機関	常任理事会	43人		
議決機関	理事会	59人		
監査機関	監事	2人		
部会構成	○総務部会 ○企画部会 ○ボランティア部会			
主な活動拠点	コミュニティセンター鶴間会館(規約上)、コミュニティセンター西鶴間会館、コミュニティセンター上草柳会館、子安児童館、西鶴間連合自治会館			
運営上の特徴	主に、地区内2か所のコミュニティセンター等を活動の拠点とし事業を展開している。定期的に常任理事会を開催し、企画立案や事業報告を行うことで、情報の共有化や合意形成を図っている。			
地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位:円)				
一般会計総額 3,234,379円	収入内訳		支出内訳	
	・市社協助成金	656,200	・事業費	1,550,000
※対前年比 491,749円減	・市補助金	25,000	・調査・広報・研修費	440,000
	・社協会費還元金	550,000	・事務費	330,000
	・収益金・寄附金等	40,010	・会議費	200,000
	・負担金	100,000	・助成金支出	65,000
	・繰越金	1,863,169	・渉外費等	135,000
			・積立金(周年含む)	400,000
			・予備費	114,379

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

地域住民と力を合わせ『この街に住んでよかった』と思われるような福祉活動を目指します。高齢者から子どもまで、多くの人に参加を呼びかけ、ふれあいと支えあいの相互支援の輪を拡げながら、手作りの福祉活動を推進していきます。

重点目標

- (1) ふれあいと支えあいの「地域づくり」を目指した活動
- (2) 児童・青少年を心豊かに育てるための活動
- (3) 地域住民の理解と協力を得るための広報・啓発活動
- (4) ボランティアの発掘と育成を図るための「つどい・研修」活動
- (5) 個別支援事業の推進

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
敬老のつどい	75歳以上の高齢者相互並びに地域関係者との交流を目的とする事業。西鶴間コミセンを会場に実施。83人参加。	
ひとり暮らし高齢者等日帰りバス旅行	ひとり暮らし・日中独居の高齢者の閉じこもり予防と交流を目的とする事業。箱根・小田原方面へバス旅行。26人参加。	
つながり事業 お休み処	西鶴間連合自治会館を会場に、高齢者等が気軽に立ち寄れる居場所として毎月第3水曜日に開設。74人来所。ボランティア延べ40人参加。	
地域内施設の支援	特養老人ホーム「サンホーム鶴間」の施設行事等へのボランティアによる支援（毎月2回）は新型コロナウイルス感染防止のため中止。	
ひまわりサロン	市社協「ひまわりサロン事業」へのボランティアの協力。延べ13人参加	
児童福祉・青少年育成活動		
親と子の野外ふれあい体験	泉の森を会場に、親子で自然と親しみながら参加者相互の交流を目的とする事業。46人参加。	
コミセン等事業支援	児童館4館、青少年指導員連絡協議会への活動支援(助成)。	
中学生ボランティア活動	敬老のつどいに大和中学校の生徒がボランティア（吹奏楽の演奏など）として参加する事業。	
その他の事業		
①「愛の小箱」の増強と定着 ② 地域交流事業への協力支援		
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	地区社協だより「つま地区社協だより」を年1回発行(回覧・掲示)	
組織体制強化・活動充実のための活動		
地区社協役員研修会	役員の研修・交流を目的に実施。国民生活センター等を視察。13人参加	
ボランティア研修会	事業にかかわるボランティアを対象に、情報交換と親睦交流とを目的に実施。23人参加。	

深見大和地区社会福祉協議会

設立年月

昭和60年(1985年)12月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在			
項目	大和市	深見大和地区	対市比率
人口	245,345人	29,036人	11.83%
世帯数	122,161世帯	14,867帯	12.73%
高齢者数	58,571人	6,020人	10.28%
高齢化率	23.87%	20.76%	-3.11ポイント
後期高齢者数	33,765人	3,319人	9.83%
要介護認定者数	11,174人	1,157人	10.35%
地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載			
自治会数	31自治会	民生委員児童委員数	定数27人(現数25人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	深見大和地域包括支援センター(大和YMCA)、特養老人ホーム「晃風園」ぬくもり、介護老人保健施設「葵の園」、特養老人ホーム「ル・リアンふかみ」、グループホームすみれの家	
	障がい者福祉施設	大和みつば作業所、ワークステーション菜の花	
	児童福祉施設	深見台保育園、パレット保育園・大和、アスク大和東・大和南保育園、大和深見台雲母保育園、さなぎっこ保育園、大和オハナ保育園、とこちゃん保育園	
	教育関連施設	深見小学校、大和小学校、大和東小学校、大和中学校、光丘中学校 大和東高校、柏木学園高校	
その他関連施設	コミュニティセンター深見北会館・深見中会館・深見南会館、市民活動拠点ベテルギウス、文化創造拠点シリウス		
地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在			
会長氏名	鈴木 勝雄(学識経験者)		
副会長数	4人	自治会(1)、民生児童委員(1)、ゆめクラブ(1) ボランティア(1)	
会計数	2人	学識経験者(1)、子ども会連絡協議会(1)	
書記・事務局数	2人	学識経験者(2)	
執行機関	常任理事会	35人	
議決機関	理事会	70人	
監査機関	監事会	2人	
部会構成	○総務部会 ○ボランティア部会 ○広報部会 ○高齢者部会 ○障がい者部会		
主な活動拠点	コミュニティセンター深見中会館(規約上) コミュニティセンター深見北会館、コミュニティセンター深見南会館		
運営上の特徴	総務・広報という機能別部会と高齢者・障がい者という対象者別部会により活動の企画運営が行われている。また、副会長が各部会を担当。ボランティア部会はふれあい訪問を中心に組織された部会であるが、地区社協の他部会主催事業へのボランティア派遣・調整を行う役割を果たしている。		
地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)			
一般会計総額 2,781,398円 ※対前年比 224,925円増	収入内訳		支出内訳
	・市社協助成金 ・市補助金 ・年末たすけあい配分金 ・社協会費還元金 ・寄附金、雑収入 ・繰越金	698,800 25,000 150,000 430,000 50,100 1,427,498	・事業費 ・広報費 ・運営費 ・会議費 ・繰出金 ・予備費
特別会計	・愛の小箱基金 607,646円 ・記念事業積立金 400,000円	※令和6年3月31日現在 ※令和6年3月31日現在	

◆令和6年度の基本方針・基本目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

<p>基本方針</p> <p>昨年度は、4年ぶりに対面総会を開催することができ、事業においても「車いす体験教室」等の子どもたちに対する支援事業、ひとり暮らし高齢者への「秋のつどい」、ふれあいサロン「木もれび」等を実施することができました。令和6年度は、『地域に広げよう！・福祉のわ（輪・和）』をスローガンに掲げ、福祉のわ（輪・和）を地域に広げていきたいと思います。</p> <p>基本目標</p> <p>ポストコロナを見据えて、各部会事業においては安全第一で実施する。</p>
--

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
お花見会	一人暮らし高齢者や障がい者を対象にお花見会を開催する事業。新型コロナウイルス感染防止等のため中止。	
暑中見舞いのおたよりの郵送	ひとり暮らし高齢者等にボランティアが描いた絵手紙を郵送する活動。	
深見大和 秋のつどい	ひとり暮らし高齢者を招き、講演会（住宅防火・火災予防について）や演芸会を開催。会場はシリウスのサブホール。35人参加。	
ひまわりサロン	市社協「ひまわりサロン事業」への支援としてボランティアの協力。	
障がい者福祉活動		
お花見会	障がい者や一人暮らし高齢者を対象にお花見会を開催する事業。新型コロナウイルス感染防止等のため中止。	
グラウンドゴルフ大会	地域の障がい者施設の利用者との交流を目的として深見小学校校庭で実施予定も雨天のため中止。	
ボウリング大会	地域の障がい者施設の利用者とその家族の交流を目的に桜ヶ丘ボウリングセンターで実施。43人参加。	
住民向けイベント		
各種地域イベント等への参加協力	「深見地区ふれあい広場」やコミセン主催の「敬老のつどい」等に参加協力。	
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	地区社協だより「ほほえみ」を年1回発行。（自治会及び地区内公共施設へ配布）	
組織体制強化・活動充実のための活動		
ボランティア研修会	ボランティア育成並びに親睦交流を目的とした研修会を実施。情報交換とコグニサイズについて学ぶ。28人参加。	
ボランティア懇談会	ミニサロンに協力しているボランティアの情報交換を兼ねた懇談会を実施。20人参加。	
民生委員・児童委員との連携強化	ボランティアと地区内の民生委員児童委員との連携強化を図ることを目的に、相互交流と情報交換を開催。	
先進地区社協等視察研修	新型コロナウイルス感染防止のため中止。	

上草柳地区社会福祉協議会

設立年月

平成元年(1989年)3月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在				
項目	大和市	上草柳地区	対市比率	
人口	245,345人	15,586人	6.35%	
世帯数	122,161世帯	8,124世帯	6.65%	
高齢者数	58,571人	3,294人	5.62%	
高齢化率	23.87%	21.13%	ポイント	
後期高齢者数	33,765人	1,898人	5.62%	
要介護認定者数	11,174人	668人	5.98%	
地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載				
自治会数	9自治会	民生委員児童委員数	定数18人(現数16人)	
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム「みなみ風」、在宅介護支援センター「みなみ風」、上草柳・中央地域包括支援センター(晃風園)、グループホームひだまり		
	障がい者福祉施設	大和泉の森作業所、精神障害者地域作業所「あゆみの家」、もみの木デイサービス		
	児童福祉施設	さくらの森保育園、さくらのつばみ保育園		
	教育関連施設	文ヶ岡小学校、草柳小学校		
	その他関連施設	コミュニティセンター上草柳会館、コミュニティセンター桜森会館、泉の森、大和スポーツセンター、コミュニティセンター草柳会館(グリーンアップセンター)		
地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在				
会長氏名	二見 富春 (自治会)			
副会長数	2人	自治会(1)、福祉施設(1)		
会計数	1人	学識経験者(1)		
書記・事務局数	1人	コミュニティセンター(1)		
執行機関	理事会	37人		
議決機関	代議員	36人 ※各自治会より4人選出		
監査機関	監事会	2人		
部会構成	○ボランティア部会 ○総務部会 ○事業部会 ○広報部会			
主な活動拠点	コミュニティセンター桜森会館(規約上)、泉の森			
運営上の特徴	設立時より活動のコンセプトを“地域住民のふれあい”におき、地域の大きな社会資源である「泉の森」を有効活用するなかで、子どもから高齢者まで幅広い地域住民が参加できるイベントを四季折々に開催している。また「ふれあい訪問事業」を市内で初めて自主事業として取り組んだ実績がある。			
地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)				
一般会計総額 4,702,178円	収入内訳		支出内訳	
	・助成金	897,200	・活動費	1,649,400
※対前年比 154,632円減	・市補助金	25,000	・広報・研修費	264,000
	・社協会費配分金	400,000	・事務費等	262,000
	・収益金・寄付金等	278,000	・会議費	30,000
	・繰越金	3,101,978	・予備費	2,496,778

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

上草柳地区社会福祉協議会の目的である「地域社会福祉の増進をはかる」ためには、上草柳地区内に住む方々がお互いの理解を深める中から相互協力して、つながりを増やし、共に支えあうことが、今こそ求められています。本協議会の事業は、「相互協力」を基本理念として、活力あるまちづくりに寄与していくために諸事業の展開を行います。

重点目標

- (1) 本協議会の組織運営を強化充実するために意識の向上を図る。
- (2) 地域住民に社会福祉への理解と協力を得るために広報啓発活動を図る。
- (3) 地域内の福祉問題を把握し、そのニーズにあった解決策を立て、福祉の増進を図るために地域のふれあいを更に強化し、きめ細かい活動を実施する。
- (4) 「大和市生活支援体制整備事業（上草柳ふれあい協議会）」推進への協力・支援

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
お出かけサロン	ミニサロン参加の高齢者相互の交流を目的にバスハイクを実施。39人参加。	
児童福祉・青少年育成活動		
ボランティア育成	各種のイベントに中学生がボランティア活動の体験として参加する事業。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	
子育て支援	子育て支援活動に協力。	
住民向けイベント		
やすらぎと緑のふれあいまつり	地域内住民相互の交流を目的に各種サークル活動の発表・模擬店などを行う総合イベント事業。神奈川県警察音楽隊の演奏も実施。	
親子ふれあい上草柳フェスタ	夏休みの児童向けのイベントとして、「2023 泉の森の大冒険」というタイトルで実施。新型コロナウイルス感染防止も視野に入れ、従来の野外炊事ではなくスタンプラリーとして実施。	
ふれあいどんど焼き	旧来、正月の行事として行われていた「どんと焼き」事業。新型コロナウイルス感染予防のため、団子の配布は中止し、お焚き上げとお汁粉・甘酒の配布を実施。	
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	地区社協だより「みどり萌ゆる」を6月・9月・1月の年3回発行（回覧）。	
組織体制強化・活動充実のための活動		
役員・ボランティア研修会	役員の資質向上と、相互の交流・親睦を深めることを目的に実施。東京大空襲記念会館を視察。24人参加。	

中央地区社会福祉協議会

設立年月

昭和59年(1984年)3月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在

項目	大和市	中央地区	対市比率
人口	245,345人	17,553人	7.15%
世帯数	122,161世帯	9,258世帯	7.58%
高齢者数	58,571人	4,546人	7.76%
高齢化率	23.87%	25.90%	+2.03ポイント
後期高齢者数	33,765人	2,527人	7.48%
要介護認定者数	11,174人	837人	7.49%

地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載

自治会数	9自治会	民生委員児童委員数	定数23人(現数22人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム「晃風園」上草柳・中央地域包括支援センター(晃風園)グループホームゆらり大和	
	障がい者福祉施設	大和さくら作業所、NPO法人ワンピースやまと南事務所、クロスオーバー大和、県央福祉会本部、ミライてらす大和、クロスオーバー大和、マーチ、やまと発達支援センターWANTS	
	児童福祉施設	草柳保育園、アスク大和保育園、キンダーガーデンやまと、大和はないる保育園、公私連携型保育所ななつぼし、認定こども園やなぎ幼稚園	
	教育関連施設	草柳小学校、引地台小学校、柳橋小学校、引地台中学校、光丘中学校	
	その他関連施設	コミュニティセンター草柳会館、コミュニティセンター下草柳会館、厚木保健福祉事務所大和センター、大和警察署、大和商工会議所、公私連携子育て支援施設「こどもの城」、中央地区支え合いセンター(第2層協議体拠点)	

地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在

会長氏名	山口 周治(学識経験者)	
副会長数	3人	自治会(2)、ゆめクラブ(1)
会計数	2人	自治会(1)、子ども会(1)
書記・事務局数	2人	民生委員児童員(1)、健康普及員(1)
執行機関	理事会	35人
議決機関	代議員	27人 ※各自治会より3人
監査機関	監事会	2人

部会構成 ○総務部会 ○広報部会 ○事業部会 ○地域交流部会 ○個別支援部会

主な活動拠点	コミュニティセンター下草柳会館(規約上) コミュニティセンター草柳会館 地区ボランティアセンター(中央地区支え合いセンター内)
運営上の特徴	理事会のすべてのメンバーが何らかの部会に所属する形をとっており、執行機関が直接活動推進にかかわるといった特徴をもっている。また、議決機関については、総会時に各自治会より代議員を推薦し評決をとる形態で、地区社協運営に多くの住民が参加できる工夫がなされている。

地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)

	収入内訳	支出内訳		
一般会計総額 3,110,940円	・助成金	1,327,800	・事業費	1,858,000
	・市補助金	25,000	・調査・広報・研修費	220,000
	・社協会費配分金	500,000	・事務費	135,000
	・寄付金	10,000	・会議費	70,000
	・負担金	15,000	・渉外費等	372,500
	・雑収入等	10,012	・積立金支出	100,000
	・繰越金	1,223,128	・予備費	355,440
※対前年比 114,228円減				

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

新型コロナウイルス感染症の位置づけが2023年5月から第5類感染症に移行され、ウィズコロナを意識した活動を模索しつつ令和5年度は活動に取り組んできました。

令和6年度は、ウィズ・コロナ禍の活動を工夫しながら、ボランティア活動の更なる充実・強化と、「障がい者福祉活動の推進」を始めとする諸活動に積極的に取り組んでいきます。

また、「大和市中心部地区支え合い協議会」との連携を密にし、実行団体としての役割を積極的に果たしていきます。

重点目標

- (1) 高齢者福祉活動の推進
- (2) 障がい者福祉活動の推進
- (3) 児童福祉・青少年育成活動の推進
- (4) 地域住民との幅広い交流の推進
- (5) 広報活動・調査活動・相談援助活動
- (6) 組織体制強化・活動充実のための活動

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動 ※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲	
敬老の集い	77歳以上の高齢者への感謝を目的にシリウスサブホールにて開催。145人参加
グランドゴルフ大会	地域内高齢者の健康増進と交流を目的に引地台公園多目的広場を会場に実施。45人参加
施設への支援	特養老人ホーム晃風園の各種事業に支援・協力。
児童福祉・青少年育成活動	
親子ふれあい体験	民生委員児童委員、子ども会、青少年指導員の協力のもと、親子の交流を目的に実施。121人参加。
児童社会見学会	夏休みの自動対象事業として、相模原市立博物館とJAXAの社会見学会を実施。41人参加。
青少年健全育成講演会	親子で学ぼうスマホ・ネットの正しい使い方をテーマに講演。20名参加。
住民向け講座・講演会等福祉教育活動	
車いす体験学習	引地台小学校4年生を対象とした福祉教育として車いすの体験学習を実施した。50人参加。
広報活動・調査活動・相談援助活動	
広報誌の発行	地区社協だより「ちゅうおう」を年2回発行(全戸配布)
組織体制強化・活動充実のための活動	
ボランティア研修会	ボランティアを対象に研修会を実施。横網町公園(慰霊堂・復興記念館)を視察見学。31人参加。
ボランティア情報交換会	ボランティアの情報交換と親睦交流を目的とした意見交換会・交流会を実施。計5回(地域交流部会2回、個別支援部会3回)
役員研修会	役員相互の情報交換と親睦交流を目的とした研修会を実施。23人参加

桜丘地区社会福祉協議会

設立年月

昭和58年(1983年)3月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在			
項目	大和市	桜丘地区	対市比率
人口	245,345人	9,869人	4.02%
世帯数	122,161世帯	4,855世帯	3.97%
高齢者数	58,571人	2,786人	4.76%
高齢化率	23.87%	28.23%	ポイント
後期高齢者数	33,765人	1,771人	5.25%
要介護認定者数	11,174人	592人	5.30%
地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載			
自治会数	11自治会	民生委員児童委員数	定数14人(現数12人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	桜丘・和田地域包括支援センター(和喜園)、 介護老人福祉施設スマイル桜ヶ丘、ケアセンター敬愛の園桜ヶ丘	
	障がい者福祉施設	福祉創造スクウェア・すぷら	
	児童福祉施設	高座渋谷ゆめいろ保育園桜ヶ丘分園	
	教育関連施設	桜丘小学校、上和田中学校	
	その他関連施設	コミュニティセンター桜丘会館、桜丘地区ボランティアセンター	
地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在			
会長氏名	国兼 晴子(学識経験者)		
副会長数	3人	ボランティア(3)	
会計数	2人	ボランティア(2)	
書記・事務局数	6人	民生委員児童委員(1)、ボランティア(5)	
執行機関	常任理事会	25人	
議決機関	理事会	40人	
監査機関	監事	2人	
部会構成	○総務部会 ○事業部会 ○広報部会 ○ボランティア部会 ○ふれあい訪問部会		
主な活動拠点	コミュニティセンター桜丘会館(規約上) 桜丘地区ボランティアセンター(事務・相談拠点)		
運営上の特徴	平成2年に地区社協の活動拠点として地区ボランティアセンターを開設、以来各種事業の企画会議等に利用している。		
地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)			
一般会計総額 2,064,596円	収入内訳		支出内訳
	・市社協助成金 ・市補助金 ・社協会費還元金 ・収益金・寄附金 ・雑収入等 ・繰越金	1,099,600 25,000 300,000 50,000 40,005 549,991	・事業費 ・広報・研修費 ・事務費 ・会議費 ・備品費 ・渉外費、修繕費等 ・積立金支出 ・予備費
※対前年比 557,711円減			

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

当地区は、急激な高齢化が進行する中で高齢者へのきめ細かな対応と同時に次世代を担う児童への福祉教育も重要な課題となっております。このような状況をふまえ、令和6年度の基本計画は、次の6項目のもと事業の推進をいたします。

基本計画：

- (1) ミニサロン「さくらの和」事業のさらなる発展
- (2) ふれあいネットワーク事業（ふれあい訪問）の充実
- (3) 高齢者への支援活動（お楽しみ交流会、敬老の集い）の推進
- (4) 児童への福祉教育（小学校4年生対象の体験学習）の充実
- (5) ボランティア育成研修の充実
- (6) 福祉活動を行うための財源確保（社協会員会費の増強）

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
お楽しみ交流会	一人暮らし高齢者の閉じこもり予防と地域住民との交流を目的とする事業。生活に役立つ情報の講演や演奏会を実施。58人参加。	
敬老の集い	77歳以上の高齢者を対象にコミュニティセンター桜丘会館を会場に実施する事業。軽音楽の演奏や踊り、桜丘小学校6年生36人による合奏など。59人参加。	
ひまわりサロン	市社協「ひまわりサロン事業」へのボランティアによる協力。延べ84人。	
児童福祉・青少年育成活動		
福祉体験教室	桜小児童(4年生)を対象に視覚障がいや盲導犬の福祉体験学習を実施。77人参加。	
住民向けイベント参加		
各種地域イベント等への参加協力	「ふれあい広場」「コミセン祭り」へ模擬店（ポップコーン）を出店して参加・協力する事業。	
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	地区社協だより「桜丘」を年2回発行(全戸配布)	
個別支援相談	地域住民に対する個別相談活動（随時）	
組織体制強化・活動充実のための活動		
地区社協創立40周年記念品贈呈式	地区社協創立40周年記念事業として、桜丘小学校、上和田中学校、コミュニティセンター桜岡会館に記念品の贈呈を行った。	
ボランティア部員研修会	ボランティア部員を対象に研修会を実施。 第1回；地区社協とボランティア活動について（38人参加） 第2回；視察研修「未病エクスプラザ」（28人参加）	
民生委員・児童委員との連携	地区内の民生委員・児童委員協議会との意見交換を目的に年1回開催。	

和田地区社会福祉協議会

設立年月

昭和63年(1988年)4月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在				
項目		大和市	和田地区	対市比率
人口		245,345人	12,363人	5.04%
世帯数		122,161世帯	6,855世帯	5.61%
高齢者数		58,571人	3,966人	6.77%
高齢化率		23.87%	32.08%	+8.21ポイント
後期高齢者数		33,765人	2,584人	7.65%
要介護認定者数		11,174人	885人	7.92%
地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載				
自治会数		12自治会	民生委員児童委員数	定数25人(現数24人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム「ひまわりの郷」特別養護老人ホーム「和喜園」 桜丘・和田地区地域包括支援センター(和喜園)、 老人保健施設「さくらぷらざ」、老人保健施設「しょうじゅの里」 グループホームはなことば高座渋谷		
	障がい者福祉施設	ぼらーの上和田		
	児童福祉施設	上和田保育園、下和田保育園、大和高座渋谷雲母保育園、高座渋谷ゆめいろ 保育園、スクルドエンジェル保育園高等町園		
	教育関連施設	渋谷小学校、上和田小学校、渋谷中学校、大和南高校 渋谷学習センター「KOZA」		
	その他関連施設	コミュニティセンター上和田会館、コミュニティセンター下和田会館		
地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在				
会長氏名	遠藤 武男 (自治会)			
副会長数	3人	自治会(1)、ゆめクラブ(1)、ボランティア(1)		
会計数	2人	ボランティア(2)		
書記・事務局数	—	※副会長が兼務		
執行機関	常任理事会	11人		
議決機関	理事会	39人		
監査機関	監事会	2人		
部会構成	○企画運営部会			
主な活動拠点	渋谷学習センター(規約上)、各自治会館、自治会集会所 コミュニティセンター上和田会館、コミュニティセンター下和田会館			
運営上の特徴	執行機関である常任理事会は、他地区と比較すると少人数であり、柔軟な企画 や検討ができるようになっている。多くの登録ボランティアにより運営されている ミニサロン事業は、地区内すべての自治会単位で開催している。			
地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位;円)				
一般会計総額 4,635,391円 ※対前年比 454,006円増	収入内訳		支出内訳	
	・社協助成金	873,600	・事業費(広報・研修費等)	1,930,000
	・市補助金	25,000	・事務費	107,000
	・社協会費配分金	350,000	・会議費	81,000
	・寄附金	200,000	・助成金支出	10,000
	・雑収入	20,000	・積立金支出	50,000
	・繰越金	3,166,791	・渉外費、備品費、修繕費等	925,000
			・予備費	1,532,391
特別会計	・周年記念事業積立金 300,013円 ※令和6年3月31日現在			

◆令和6年度の基本方針・基本計画

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

地域内関係者、関係団体・施設等との良好な協力関係を構築するとともに、より多くの住民がボランティア活動に参加できる場づくりを行い、地域包括支援センターとも連携を深め、事業、活動の充実を図る。

基本計画

- (1) 青少年・高齢者関連事業の充実
- (2) ボランティアの育成
- (3) 地域福祉の推進
- (4) 広報活動の充実

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動		※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲
ミニミニサロン 集大成 お楽しみ会	ミニサロン(5か所)の参加者が一堂に集い、交流と孤立感の解消を目的に実施。渋谷中学校のランチルームを会場に生徒とも交流。	
おせち料理の配食	ひとり暮らし高齢者への年末の声掛けとおせち料理を届ける事業。有料で希望者対象。44人に宅配。	
グラウンドゴルフ大会	高齢者の交流と健康増進を目的に実施する事業。渋谷小学校校庭で実施予定も雨天により中止。	
ひまわりサロン	市社協「ひまわりサロン事業」へのボランティア。54回・延べ79人参加。	
お米の宅配ふれあい訪問	地元で収穫されたお米をふれあい訪問対象者に宅配する事業。19人に宅配。	
住民向けイベント		
各種地域イベント等への参加協力	高座渋谷地区ふれあい広場に参加し、車いす・アイマスク体験コーナーを開設し福祉の啓発を目的に実施。 ※これまで参加してきた「れんげ祭り」へは不参加。	
広報活動・調査活動・相談援助活動		
広報紙の発行	地区社協だより「だいやる」を年1回発行(全戸配布)	
組織体制強化・活動充実のための活動		
賀詞交歓会	地域内の福祉関係者の交流を目的に開催予定も、新型コロナウイルス並びにインフルエンザ感染予防により中止。	
役員・ボランティア研修会	役員並びにボランティアの情報交換や親睦交流、研修を目的に実施。東京都復興記念館を視察。26人参加。	

福田北地区社会福祉協議会

設立年月

昭和59年(1984年)12月設立

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在			
項目	大和市	福田北地区	対市比率
人口	245,345人	14,106人	5.75%
世帯数	122,161世帯	7,124世帯	5.83%
高齢者数	58,571人	3,852人	6.58%
高齢化率	23.87%	27.31%	+3.44ポイント
後期高齢者数	33,765人	2,269人	6.72%
要介護認定者数	11,174人	752人	6.73%
地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載			
自治会数	14自治会	民生委員児童委員数	定数20人(現数20人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	大和市まごころ地域福祉センター、福田北地域包括支援センター(敬愛会)、グループホーム花物語やまと南、小規模多機能施設より道一休	
	障がい者福祉施設	ふきのとう舎、ふきのとう向生舎、ワークス桜舎、県央療育センター	
	児童福祉施設	子育て支援センター、福田保育園、桜ヶ丘はないろ保育園	
	教育関連施設	引地台中学校、柳橋小学校、福田小学校、桜丘学習センター	
	その他関連施設	コミュニティセンター柳橋会館、コミュニティセンター福田会館 柳橋ふれあいプラザ、ねっとわ〜く福田北協議体拠点「ここさぼ」	
地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在			
会長氏名	鈴木 恵美子 (有識者)		
副会長数	4人	民生委員児童委員(1)、有識者(3)	
会計数	2人	有識者(2)	
書記	2人	有識者(1)、ボランティア(1)	
執行機関	理事会	38人	
議決機関	評議員会	43人	
監査機関	監事会	2人	
部会構成	○総務部会 ○事業部会 ○広報部会 ○生活支援部会		
主な活動拠点	福田北地区地域ボランティアセンター(規約上)、桜丘学習センター、コミュニティセンター柳橋会館、まごころ地域福祉センター、柳橋自治会館、ハイム桜ヶ丘集会所、緑ヶ丘自治会館、新道下自治会館、山下自治会館、ねっとわ〜く福田北協議体拠点「ここさぼ」		
運営上の特徴	役員会、部会を定例化(毎月)し、部会長が副会長を兼務していることで、役員と部会との連絡調整をスムーズに行っている。月別の年間計画により各部会が責任を持ち事業の企画運営を行っている。		
地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位:円)			
一般会計総額 3,349,067円	収入内訳		支出内訳
	・市社協助成金 ・市補助金 ・自治会拠出金 ・収益金・寄附金 ・雑収入 ・繰入金 ・繰越金	917,200 25,000 350,000 210,000 20,000 500,000 1,326,867	・運営費 ・事業費 ・広報研修費 ・事務所賃借料 ・40周年記念事業費 ・予備費
※対前年比 193,241円減			

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針

昭和59年(1984年)12月の設立から40周年の節目の年を迎える令和6年度は、40周年を冠事業に捉えつつ、大和市社会福祉協議会の基本理念「住民ひとりひとりの参加を基本に共に支え合うふくしのまちづくりを」のもと活動していきます。

重点目標

- (1) 40周年記念誌の作成に向けた実行委員会による企画編集
- (2) 地域ニーズの把握に向けヤングケアラーや介護者のレスパイトについて取り組む
- (3) ねっとわ〜く福田北協議体との連携
- (4) 避難行動要支援者対策の充実・強化
- (5) 福田北地域包括支援センターとの連携

◆地区社協の主な活動状況(令和5年度)

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動 ※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲	
福祉地域交流演芸会	ひとり暮らし高齢者等の交流を目的としたお楽しみ会。福田保育園児の歌や踊りなど園児との交流、歌やマジックショーを実施。142人参加。
ひまわりサロン支援	市社協「ひまわりサロン事業」へのボランティア協力。
障がい者福祉活動	
余暇支援「ティールーム」	カレーライスでの会食後、ゲームやカラオケ、盆踊り等で交流。47人参加。
児童福祉・青少年育成活動	
中学生ボランティア福祉体験	ふれあい広場において福祉体験コーナーを実施。中学生がボランティアとして協力。145人参加。
住民向け講座・講演会等福祉教育活動	
福祉講演会	振り込め詐欺や訪問販売について、家庭でできる防犯対策について大和警察署署員並びに大和市職員を講師に招き実施。27人参加。
住民向けイベント	
ふれあい広場	ふれあい広場において福祉体験コーナーを実施。 ※前掲
広報活動・調査活動・相談援助活動	
広報紙の発行	地区社協だより「かけ橋」を年2回発行(全戸配布)、「小さなかけ橋」1回発行(回覧)
組織体制強化・活動充実のための活動	
新春茶話会	賀詞交歓会に代わる交流の場として開催。43人参加。能登地震への募金実施。
創立40周年に向けての講演会	福田地区社協の設立当時の様子や誕生のエピソード、これまでの歩みについての講演会。講師は、福田北地区社協顧問。50人参加。
ボランティア交流会	様々な活動にかかわっているボランティアからの体験談と情報交換。34人参加。
ねっとわ〜く福田北協議体との連携	協議体に寄せられる依頼にも対応し、連携を図っている。
災害時避難行動要支援者対策地域会議	災害時の要援護者支援について、自治会、民生委員、地区社協関係者等が集まり、防災に関する学習と現状の取り組み状況の報告や情報交換を行った。41人参加。
地区民生委員・児童委員協議会との意見交換会	地区社協の組織と事業や民児協と地区社協の協働の仕組みについて、情報交換・交流を目的に実施。33人参加。

渋谷西地区社会福祉協議会	設立年月	昭和58年(1983年)10月設立
---------------------	------	-------------------

地域の概況・特性 ※令和6年7月1日現在

項目	大和市	渋谷西地区	対市比率
人口	245,345人	22,659人	9.24%
世帯数	122,161世帯	10,747世帯	9.20%
高齢者数	58,571人	6,096人	10.40%
高齢化率	23.87%	26.90%	+3.03ポイント
後期高齢者数	33,765人	3,758人	11.13%
要介護認定者数	11,174人	1,130人	10.11%

地域の社会資源の状況 ※令和6年7月1日現在で特に関連のある施設を掲載

自治会数	13自治会	民生委員児童委員数	定数25人(現数19人)
主な福祉施設等の状況	高齢者福祉施設	特別養護・養護老人ホーム「敬愛の園」、福田南地域包括支援センター(敬愛の園)、グループホームあいしま大和、やすらぎの家大和渋谷、ひだまり式番館、はなことば高座渋谷	
	障がい者福祉施設	大和福田作業所、福田の里、代官ガーデン	
	児童福祉施設	渋谷保育園、もみの木保育園、高座渋谷もりのこ保育園	
	教育関連施設	下福田小学校、下福田中学校、福田小学校	
	その他関連施設	コミュニティセンター福田会館、コミュニティセンター下福田会館	

地区社協の組織・運営体制 ※令和6年7月1日現在

会長氏名	保田 弟治(地域福祉委員)		
副会長数	4人	自治会(3)、民生委員児童委員(1)	
会計数	2人	地域福祉委員(2)	
書記・事務局数	1人	地域福祉委員(1)	
執行機関	理事会	39人	
議決機関	代議員	39人 ※単位自治会より3人ずつ選出	
監査機関	監事会	2人	
部会構成	○企画奉仕部会 ○広報部会		
主な活動拠点	コミュニティセンター下福田会館(規約上) コミュニティセンター福田会館		
運営上の特徴	議決機関については、総会時に各自治会より代議員を推薦し評決をとる形態で、地区社協運営に多くの住民が参加できる工夫がなされている。事業の企画運営は企画奉仕部会が中心に担っており、部内を8つの担当に分け、きめ細かく対応。部会も毎月定例化している。地域内施設との連携も密である。個別支援活動として「おたすけ隊」を運営している。		

地区社協の財政状況 ※令和6年度予算(単位:円)

収入内訳	支出内訳
一般会計総額 5,752,566円	・事業費 1,120,000
・市社協助成金 707,400	・調査・広報・研修費 420,000
・市補助金 25,000	・事務費 100,000
・社協会費還元金 470,000	・会議費等 405,000
・収益金・寄附金 40,000	・備品費 200,000
※対前年比 149,717円増	・修繕費 200,000
・受取利息配分金 10	・雑費 500,000
・雑収入 5,000	・予備費 2,807,566
・繰越金 4,505,156	

◆令和6年度の基本方針・重点目標

※令和6年度総会資料の事業計画をもとに整理

基本方針	
渋谷西地区社会福祉協議会のキャッチフレーズ「誰もが暮らしやすい福祉のまちづくり、みなさんの参加で活動を進めましょう」をモットーに、第6次大和市社協地域福祉活動計画に準拠した地区社協活動を活発に推進し、活力に富み、住んで良かったと思われるまちづくりをめざす。	
重点目標	
(1) 高齢者福祉活動・・・サロン活動を中心に孤立しがちな高齢者間の親睦、支援	
(2) 障がい者福祉活動・・・障がい者とのふれあい活動を通じ支援・援助	
(3) 児童福祉活動・・・コミセン主催の夏休み子どもイベントへの援助、支援	
(4) 青少年育成活動・・・高齢者お楽しみ会で中学生ボランティア活動の援助、支援	
(5) 住民向けイベント活動・地域のイベント支援を通じ住民と社協の連帯感構築	
(6) 広報活動・・・広報紙を通じて地域の情報発信及び社協活動の啓発	
(7) 個別支援活動・・・支援の必要な地域住民への手助け・援助	

◆地区社協の主な活動状況（令和5年度）

※令和6年度総会資料の事業報告をもとに整理

高齢者福祉活動	
※ふれあい訪問事業・ミニサロン事業の詳細については後掲	
敬老お楽しみ会	ひとり暮らし高齢者の交流を目的とした事業。下福田中学校吹奏楽部の演奏や敬愛の園職員による健康講和。67人参加。
日帰りバス旅行	ひとり暮らし高齢者の交流・親睦を目的とした日帰りバス事業。大磯吉田茂邸や平塚花菜ガーデンを見学。33人参加。
お花見交流会	高齢者・作業所の利用者を招き交流を行う事業。新型コロナ感染防止のため中止。
敬愛の園支援	ふれあい秋まつり模擬店支援事業。新型コロナ感染防止のため中止。
おせち料理配食	ひとり暮らし高齢者へおせち料理を配食する事業。新型コロナ感染拡大防止のため中止。
ひまわりサロン	市社協「ひまわりサロン事業」へのボランティアによる協力。
障がい者福祉活動	
施設との交流	新型コロナ感染拡大防止のため中止
福田の里祭り	新型コロナ感染拡大防止のため中止。
児童福祉・青少年育成活動	
フィールドデイサマー	小学生を対象に、日帰りの中学生がボランティアとして工作などを教える事業（青少年指導員共催事業）。下福田小学校を会場に実施。児童13人参加。
中学生ボランティア	ひとり暮らし高齢者お楽しみ会事業に下福田中学校生徒がボランティアとして協力。18人参加。
夏休み親子映画・絵本の読み聞かせ	福田コミセンとの共催事業。
住民向け講座・講演会等福祉教育活動	
ふれあい広場	「ふれあい広場」車いす体験コーナーを開設予定も雨天により中止。
男性料理教室	男性のための料理教室を福田コミセン・下福田コミセンの2か所で実施。両コミセンで、のべ16人参加。
広報活動・調査活動・相談援助活動	
広報紙の発行	「渋谷西だより」を年2回（1月・7月）発行。

○ふれあい訪問事業の概要

※令和5年度ふれあいネットワーク事業実施報告書をもとに整理

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成6年12月	地区を7ブロックに分け、それぞれにブロック長を配置している。ボランティアが月2回不定期に訪問し、安否確認や閉じこもり予防を行っている。毎年、研修会も実施している。
利用登録者数	45人	
ボランティア登録者数	33人	
中央林間地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成7年7月	2人1組で月2回不定期に訪問し、訪問日は相手の都合のよい日時に合せている。誕生日プレゼントや正月のお節料理を持参している。
利用登録者数	13人	
ボランティア登録者数	16人	
南林間地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成7年2月	ひとりのボランティアが1～2人を担当し、第1・第3月曜日に訪問する。手土産は月1回、お菓子・花・日用品等を持参している。
利用登録者数	25人	
ボランティア登録者数	54人	
鶴間地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成8年10月	毎月第2・第4水曜日に訪問し、手土産は年2回持参する。その他、民生委員児童委員との連携やブロックごとの会議で運営している。
利用登録者数	12人	
ボランティア登録者数	28人	
深見大和地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成6年12月	毎月第2土曜日を基本に訪問、年2回の全体訪問（140名）を実施し、実施の際には、プレゼントを持参して訪問、その他、誕生日と暑中見舞いのお便りを郵送している。
利用登録者数	41人	
ボランティア登録者数	37人	
上草柳地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成3年2月	毎月第2・第4土曜日に訪問し、手土産は茶菓子・野菜を持参している。
利用登録者数	24人	
ボランティア登録者数	8人	

中央地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成7年2月	民生委員児童委員とボランティアが対象の高齢者宅へ毎月第2・4土曜日に訪問している。手土産は、誕生日や季節ごとに防災用品や介護予防用品などを持参している。季節に応じ年賀状や暑中見舞いも出している。
利用登録者数	20人	
ボランティア登録者数	22人	
桜丘地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成6年10月	役員、ボランティア、民生委員児童委員がチームを組み、毎月月末に訪問している。 手土産は、大きくかさばる物、重い物（生活必需品など）を選び持参している。
利用登録者数	73人	
ボランティア登録者数	34人	
和田地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成10年4月	毎月第1・第3火曜日を基本に随時訪問。手土産は誕生日やクリスマスなど、イベントに合わせる形で持参している。
利用登録者数	20人	
ボランティア登録者数	14人	
福田北地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成6年11月	毎月第1・第3金曜日に2人1組になり訪問し、誕生月に手土産を持参する。平成24年7月から、訪問時間中は担当者が事務所に居て報告を受け、緊急時に対応している。
利用登録者数	15人	
ボランティア登録者数	17人	
渋谷西地区社会福祉協議会		
事業開始年月	平成6年11月	地区内のひとり暮らし高齢者宅へ民生委員児童委員が訪問している。また、2ヶ月に1回、地区民生委員児童委員協議会の発行の「福田南民児協だより」を民生委員児童委員が持参している。
利用登録者数	53人	
ボランティア登録者数	18人	



○ミニサロン事業の概要

※令和5年度ふれあいネットワーク事業実施報告書をもとに整理

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成13年10月	サロンの名称	ミニサロン遊友会
開催日時・場所	第3火曜日 10:00~11:00 坂上自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	10人	ボランティア数平均	7人
事業開始年月	平成15年5月	サロンの名称	ミニサロン若葉会
開催日時・場所	第2月曜日 10:00~11:00 山王原自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	14人	ボランティア数平均	8人
事業開始年月	平成18年11月	サロンの名称	ミニサロンぶらんこ
開催日時・場所	第1月曜日 10:00~11:00 長堀自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	12人	ボランティア数平均	12人
事業開始年月	平成21年4月	サロンの名称	ミニサロン宿場まち
開催日時・場所	第3木曜日 10:00~11:00 宿自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	12人	ボランティア数平均	6人
事業開始年月	平成21年7月	サロンの名称	ミニサロン山谷
開催日時・場所	第3水曜日 10:00~11:00 山谷自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	4人
事業開始年月	平成22年11月	サロンの名称	サロン大和原
開催日時・場所	第3木曜日 10:00~11:00 大和原自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	5人
事業開始年月	平成25年7月	サロンの名称	ミニサロン山水会
開催日時・場所	第3水曜日 10:00~11:00 山王原上自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	5人
事業開始年月	平成28年4月	サロンの名称	さろん・コトー
開催日時・場所	第4月曜日 10:00~11:00 コトーつきみ野集会所		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	7人	ボランティア数平均	4人

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成 28 年 4 月	サロンの名称	笑みの会
開催日時・場所	第 4 月曜日 10:00~11:00 公所自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	12人	ボランティア数平均	9人
内容・特徴等	サロン事業の年間計画をあらかじめ話し合い、計画化し、実施している。介護予防の視点から健康測定や口腔体操なども積極的に取り入れている。		

中央林間地区社会福祉協議会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止)			
事業開始年月	平成 13 年 10 月	サロンの名称	いい日の集い
開催日時・場所	不定期 10:00~12:00 コミュニティセンター中央林間会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	7人	ボランティア数平均	15人
事業開始年月	平成 13 年 10 月	サロンの名称	いい日の集い
開催日時・場所	不定期 10:00~12:00 コミュニティセンター緑野会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料 ※イベントにより実費負担あり		
参加者平均	11人	ボランティア数平均	20人
事業開始年月	平成 31 年 1 月	サロンの名称	みんなで脳活
開催日時・場所	第 1 木曜日 11:00~12:00 ポラリス		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料		
参加者平均	10人	ボランティア数平均	3人
内容・特徴等	各会場で地域の医療・介護、防災などの情報提供や各種プログラム（脳体操、エアロビクス、演芸等）により開催し、別途事業（バスハイク等）を実施している。		

南林間地区社会福祉協議会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部活動中止)			
事業開始年月	平成 15 年 6 月	サロンの名称	悠楽会
開催日時・場所	第 2・4 火曜日 10:00~12:00 東南自治会集会所		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料		
参加者平均	12人	ボランティア数平均	3人
事業開始年月	平成 25 年 6 月	サロンの名称	西北サロン
開催日時・場所	第 3 金曜日 10:00~12:00 西北自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料		
参加者平均	13人	ボランティア数平均	5人

南林間地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成27年8月	サロンの名称	南北サロン
開催日時・場所	第2・4火曜日10:00~12:00 自治会集会所		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	3人
事業開始年月	令和元年月	サロンの名称	西南サロン(休会中)
開催日時・場所	第 火曜日10:00~12:00 特養老人ホーム「ほの里南林間」		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料		
参加者平均	——人	ボランティア数平均	——人
内容・特徴等	各会場で茶話会中心に健康体操など行っている。また、地域内の保育園との交流事業も行なっている。		

鶴間地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成7年6月	サロンの名称	鶴の会
開催日時・場所	第2火曜日 10:00~12:00 コミュニティセンター鶴間会館		
会費・参加費	年会費1,000円		
参加者平均	11人	ボランティア数平均	12人
事業開始年月	平成9年4月	サロンの名称	鶴の会
開催日時・場所	第4火曜日 10:00~12:00 コミュニティセンター西鶴間会館		
会費・参加費	年会費1,000円		
参加者平均	9人	ボランティア数平均	14人
内容・特徴等	地域内2か所のコミュニティセンターを会場として実施。年会費を集めており、昼食(軽食)をつくり提供している。		

深見大和地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成15年7月	サロンの名称	「木もれび南」
開催日時・場所	第4木曜日 10:00~12:00 コミュニティセンター深見南会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	16人
事業開始年月	平成16年4月	サロンの名称	「木もれび北」
開催日時・場所	第2火曜日 10:00~12:00 コミュニティセンター深見北会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	15人

深見大和地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成25年2月	サロンの名称	「木もれび」
開催日時・場所	第1水曜日 大和自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費原則無料		
参加者平均	7人	ボランティア数平均	5人
内容・特徴等	地域内の2カ所のコミュニティセンターと自治会館を会場として、おしゃべりや茶話会を中心に展開、年数回はイベントなどを取り入れて開催している。その他、参加者に暑中見舞いのお便りを郵送している。		

上草柳地区社会福祉協議会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部活動中止)			
事業開始年月	平成18年4月	サロンの名称	みどり萌ゆる
開催日時・場所	第1・3月曜日 10:00~14:00 桜森自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費400円(弁当代)		
参加者平均	13人	ボランティア数平均	2人
事業開始年月	平成24年7月	サロンの名称	生き生きクラブ
開催日時・場所	第2・4火曜日 13:00~16:00 上草柳東自治会館		
会費・参加費	会費なし/参加費100円		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	2人
事業開始年月	平成31年4月	サロンの名称	隣人クラブ
開催日時・場所	第1・3日曜日 14:00~16:00 コミュニティセター桜森会館		
会費・参加費	会費なし/参加費100円		
参加者平均	6人	ボランティア数平均	2人
事業開始年月	平成31年4月	サロンの名称	さつき会クラブ
開催日時	第2・4金曜日 10:00~12:00 上草柳三丁目資材置き場		
会費・参加費	会費なし/参加費100円		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	2人
事業開始年月	令和2年4月	サロンの名称	文ヶ岡クラブ
開催日時	第2・4火曜日 13:00~16:00 コミュニティセンター桜森会館		
会費・参加費	会費なし/参加費100円		
参加者平均	6人	ボランティア数平均	2人
内容・特徴等	各会場でおしゃべりや茶話会を中心に展開し、運動やゲーム等も取り入れている。		



中央地区社会福祉協議会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部活動中止)			
事業開始年月	平成 18 年 6 月	サロンの名称	いきいきサロン
開催日時・場所	第 4 火曜日 10:00~12:00 コミュニティセンター草柳会館 (8 月は休み、12 月は第 2 火曜日)		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	9 人	ボランティア数平均	11 人
事業開始年月	平成 18 年 6 月	サロンの名称	いきいきサロン
開催日時・場所	第 4 火曜日 10:00~12:00 コミュニティセンター下草柳会館 (8 月は休み、12 月は第 2 火曜日)		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	12 人	ボランティア数平均	11 人
事業開始年月	平成 27 年	サロンの名称	中央 4 丁目サロン
開催日時・場所	毎月最終月曜日 10:00~12:00 中央 4 丁目自治会館		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	14 人	ボランティア数平均	6 人
事業開始年月	平成 27 年	サロンの名称	金曜サロン
開催日時・場所	毎月最終金曜日 10:30~12:00 市営やよい住宅集会所		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	9 人	ボランティア数平均	2 人
事業開始年月	平成 27 年	サロンの名称	六丁目サロン
開催日時・場所	第 1 水曜日 10:00~17:00 中央 6 丁目自治会館		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	13 人	ボランティア数平均	0 人
事業開始年月	平成 27 年	サロンの名称	茶ちや会
開催日時・場所	第 3 火曜日 10:00~12:00 中央 7 丁目自治会館		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	8 人	ボランティア数平均	3 人
事業開始年月	平成 29 年	サロンの名称	中央 2・3 丁目サロン
開催日時・場所	第 2 火曜日 10:00~12:00 中央 2・3 丁目自治会館		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	15 人	ボランティア数平均	6 人
事業開始年月	平成 27 年	サロンの名称	サロンわかば
開催日時・場所	第 2 金曜日 10:00~12:00 若葉自治会館		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	9 人	ボランティア数平均	8 人

中央地区社会福祉協議会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部活動中止)			
事業開始年月	平成 27 年	サロンの名称	柳橋一丁目サロン (休会中)
開催日時・場所	第3火曜日 10:00~12:00 若葉自治会館		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	—— 人	ボランティア数平均	—— 人
事業開始年月	平成 27 年	サロンの名称	草柳サロン
開催日時・場所	第3木曜日 10:00~12:00 草柳自治会館		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	5人	ボランティア数平均	9人
事業開始年月	令和元年10月	サロンの名称	S Yダイヤモンドサロン
開催日時・場所	第4水曜日 10:00~12:00 藤和マンション集会室他		
会費・参加費	会費なし		
参加者平均	11人	ボランティア数平均	5人
内容・特徴等	各会場で特徴的な運営を行っており、折り紙などの手作業や映画、カラオケなどのレクリエーションや介護予防につながる取り組みも行なっている。		

桜丘地区社会福祉協議会			
事業開始月	平成15年4月	サロンの名称	さくらの和
開催日時・場所	毎月第4月曜日 10:00~12:00 (境川)上ノ町自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	15人	ボランティア数平均	4人
事業開始月	平成16年3月	サロンの名称	さくらの和
開催日時・場所	隔月第4水曜日10:00~12:00(久田・百合ヶ丘)百合ヶ丘自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	17人	ボランティア数平均	5人
事業開始月	平成15年11月	サロンの名称	さくらの和
開催日時・場所	隔月1回(不定期) 10:00~12:00 宮久保自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	2人
事業開始月	平成18年6月	サロンの名称	さくらの和
開催日時・場所	隔月第4水曜日 10:00~12:00 コミュニティセンター桜丘会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	3人
事業開始月	平成15年11月	サロンの名称	さくらの和
開催日時・場所	毎月第3水曜日 10:00~12:00 (親和会)桜並木集会所		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	15人	ボランティア数平均	7人

桜丘地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成 17 年	サロンの名称	さくらの和
開催日時・場所	隔月第 4 火曜日 10:00~12:00 (桜丘)桜ヶ丘自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	16人	ボランティア数平均	8人
内容・特徴等	サロンの名称は「さくらの和」。おしゃべりや茶話会を中心に展開し、会場毎に、ゲームや歌、盆踊り、体操、学習会などを行っている。		

和田地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成 14 年 2 月	サロンの名称	ミニミニサロン (いちよう団地地区)
開催日時・場所	第 1 水曜日・第 3 木曜日 13:30~15:30 いちよう団地第 1 集会所		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	15人	ボランティア数平均	5人
事業開始年月	平成 14 年 2 月	サロンの名称	ミニミニサロン (下和田地区)
開催日時・場所	第 2・4 木曜日 13:30~15:30 下和田自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	3人
事業開始年月	平成 14 年 2 月	サロンの名称	ミニミニサロン (高等町地区)
開催日時・場所	第 2・4 木曜日 13:30~15:30 高等町自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	4人	ボランティア数平均	2人
事業開始年月	平成 14 年 2 月	サロンの名称	ミニミニサロン (上和田地区)
開催日時・場所	第 2・4 月曜日 13:30~15:30 上和田自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	3人	ボランティア数平均	3人
事業開始年月	平成 14 年 1 月	サロンの名称	ミニミニサロン (上和田団地地区)
開催日時・場所	第 2・4 火曜日 13:30~15:30 上和田団地集会所		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	9人	ボランティア数平均	6人
内容・特徴等	平成 14 年 1 月から事業を開始。地区社協内すべての自治会単位で開催しており、おしゃべりや茶話会が中心で、5つの会場ごとにボランティアリーダーを置き運営し、全体が一堂に会するイベント(中高生との交流や会食会)も実施している。		

福田北地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成13年4月	サロンの名称	ふれあいサロン「陽だまり」
開催日時・場所	第1月曜日 13:00~15:00 新道下自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	9人	ボランティア数平均	10人
事業開始年月	平成19年7月	サロンの名称	ふれあいサロン「陽だまり」
開催日時・場所	第1火曜日 13:00~15:00 緑ヶ丘自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	7人	ボランティア数平均	13人
事業開始年月	平成13年4月	サロンの名称	ふれあいサロン「陽だまり」
開催日時・場所	第1月曜日 13:00~15:00 ハイム桜ヶ丘第1集会所		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	8人	ボランティア数平均	12人
事業開始年月	平成21年7月	サロンの名称	ふれあいサロン「陽だまり」
開催日時・場所	第1月曜日 13:00~15:00 柳橋自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	7人	ボランティア数平均	14人
事業開始年月	令和5年4月	サロンの名称	ふれあいサロン「山下」
開催日時・場所	第1月曜日 13:00~15:00 山下自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	13人	ボランティア数平均	9人
内容・特徴等	第1月曜日に4カ所、第1火曜日に1カ所（自治会館・集会所）で開催し、おしゃべりが中心で季節感のある果物やお菓子などを出している。地区社協事業部会のふれあいサロン陽だまり担当が企画運営し、登録ボランティアが当番表に基づいて対応している。（ボランティア研修あり）		

渋谷西地区社会福祉協議会			
事業開始年月	平成28年2月	サロンの名称	福田コミセンミニサロン
開催日時・場所	毎月第2火曜日 10:15~12:00 コミュニティセンター福田会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	17人	ボランティア数平均	6人
事業開始年月	平成30年4月	サロンの名称	げんきサロンクローバー
開催日時・場所	毎月第4金曜日 10:00~12:00 下福田南部自治会館		
会費・参加費	会費なし/原則無料		
参加者平均	15人	ボランティア数平均	10人
内容・特徴等	地域住民の交流の場として毎月1回行っている。福田コミセンと共催して行っており、事業企画なども一緒に行い運営している。お茶会を基本としつつ、介護予防に関する取り組みなども行なっている。		

○個別支援事業の概要

※令和5年度ふれあいネットワーク事業実施報告書をもとに整理

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会 ◆活動名：「個別支援活動」(平成18年度～)		
延べ依頼件数	240件	電球の交換や庭の草取りなど、高齢者・障がいのある方のちょっとした困りごとのお手伝いを行っている。また児童の通学支援にも取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	292人	
中央林間地区社会福祉協議会 ◆活動名：「ちょいボラ」(平成16年度～)		
延べ依頼件数	36件	一人暮らし高齢者・障がい者の方に対し、ゴミだし、庭木の剪定、電球の取り換え、簡単な修理等に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	65人	
南林間地区社会福祉協議会 ◆活動名：「個別支援活動」(平成29年度～)		
延べ依頼件数	1,426件	高齢者の方を対象に、庭木の剪定、草取り、家屋内の清掃、通院介助、買い物代行、話し相手など多様なニーズに取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	1,471人	
鶴間地区社会福祉協議会 ◆活動名：「個別支援活動」(平成29年度～)		
延べ依頼件数	110件	一人暮らし高齢者・障がい者の方に対し、ゴミ出し、水道パッキングの取り換え、傾聴等に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	110人	
深見大和地区社会福祉協議会 ◆活動名：「つながり」(平成21年度～)		
延べ依頼件数	66件	民生委員児童委員と連携のうえ、ニーズ把握調査を行い、コーディネート設置と活動推進班を編成し、総務部会付けで、庭木の剪定や雑草の除去、訪問見守り等に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	130人	
上草柳地区社会福祉協議会 ◆活動名：「ちょいボラ上草柳」(平成27年度～)		
延べ依頼件数	4件	高齢者や障がい者世帯を対象に、日常生活支援活動として電球交換や雑草、庭木の刈り込み等に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	13人	
中央地区社会福祉協議会 ◆活動名：「個別支援活動」(平成21年度～)		
延べ依頼件数	142件	電球の交換や庭の草とりなど、高齢者・障がいのある方のちょっとした困りごとのお手伝いを行っている。また障がい児の通学支援やゴミ出しなど継続的な支援にも取り組んでいる
延べ対応ボランティア数	194人	
桜丘地区社会福祉協議会 ◆活動名：「個別支援活動」(平成27年度～)		
延べ依頼件数	26件	一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に対し、庭木の手入れやゴミ出し、買い物補助等に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	39人	

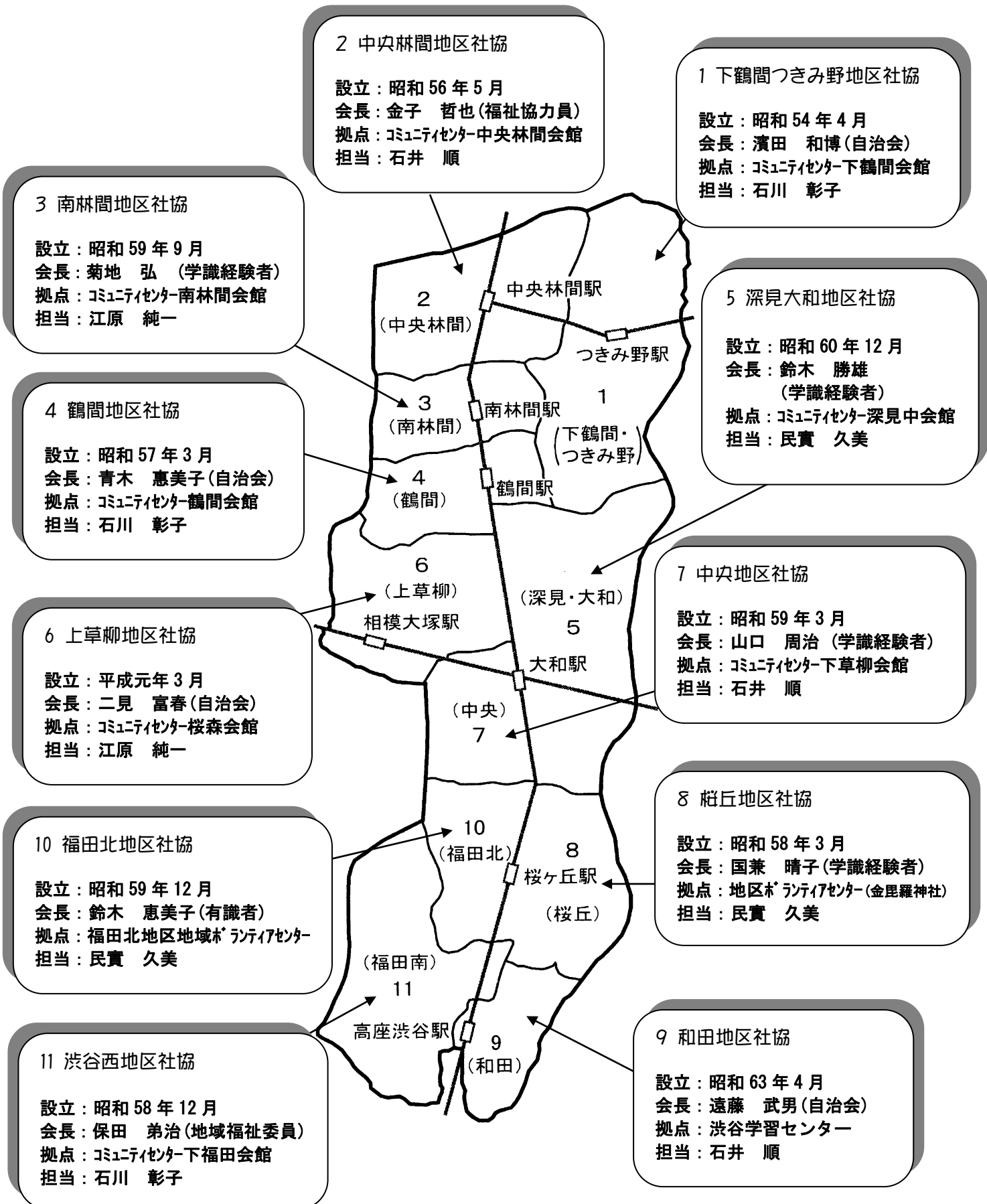
和田地区社会福祉協議会		◆活動名：「個別支援活動」(平成 28 年度～)
延べ依頼件数	39 件	自治会長や民生委員・児童委員と連携し、一人暮らし高齢者の継続的なゴミ出し等に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	39 人	
福田北地区社会福祉協議会		◆活動名：「個別支援活動」(平成 14 年度～)
延べ依頼件数	56 件	一人暮らし高齢者等に対し、庭の手入れや通院介助等に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	78 人	
渋谷西地区社会福祉協議会		◆活動名：「渋谷西おたすけ隊」(平成 16 年度～)
延べ依頼件数	93 件	部会員と自治会関係者に呼びかけ、事務長がコーディネートする。ロコミや市ボランティアセンターや地域包括支援センターからの依頼を中心に取り組んでいる。
延べ対応ボランティア数	145 人	

※南林間地区は、「南林間たすけあい協議会」の取組み実績を計上



令和6年度 地区社協マップ ～代表・拠点・担当～

(令和6年7月現在)



令和6年度版
住人十色のまちづくり
～地区社会福祉協議会の概要～

発行日 令和6年7月（毎年更新）
発行 社会福祉法人 大和市社会福祉協議会
（やまとボランティアセンター）
〒242-0004 大和市鶴間1-31-7 市保健福祉センター

4F

TEL 046-260-5643 FAX 050-3730-9430
URL <http://www.yamato-shakyo.or.jp>
MAIL vc@yamato-shakyo.or.jp